

【安全対策スローガン】

「作業手順に関する検討・確認の徹底及び「予定外作業」「省略行動」の排除に取り組むことで、死亡災害等の重篤度の高い事故及び建設三大災害を未然に防止する」

【重点的な取組み】

（１）現場の危険を認識した施工管理の徹底

発注者は、次の事項について受注者へ指示し、実施状況の確認及び指導を行う。

- ・リスクアセスメント※に基づいた作業手順書及び作業計画書等を作成する。

※厚生労働省 HP https://anzeninfo.mhlw.go.jp/yougo/yougo01_1.html

- ・リスクアセスメントが行われない「予定外作業」と作業手順書に準じない「省略行動」の危険性を認識し、それらを排除する措置を実施する。

（２）物損公衆災害防止のための事前対策の徹底

次の事項について取組み、「埋設管等の損傷」「飛び石」等、事前調査不足や周囲への配慮不足に起因する事故を防止する。

- ・掘削作業を行う場合は、受発注者間で協力して掘削位置及びその隣接区域における支障物の有無の事前調査及び試掘等を徹底する。
- ・動力機械を使用する場合は、使用位置及びその隣接区域を確認し、養生等の飛散防止を徹底する。

【継続的な取組み】

（１）安全衛生管理に関する受注者への指導

- ・「安全衛生管理の徹底について」要請のうえ、取組み実施状況の確認及び指導を実施。

- ・施工期間中において、上記以外の安全衛生に関する通知及び要請があれば都度指導を実施。

（２）安全点検・現場パトロールの実施

- ・恒常的な現場点検に加え、過積載調査の期間に併せて担当以外の者が別の視点で安全点検を実施する安全衛生強化期間の設置。

（３）安全衛生意識の向上と「見える化」の推進

- ・監督職員等に対する「安全衛生研修」、受注者に対する「安全衛生講習会」への参加を促進し、前年度の事故発生状況や要因等を踏まえた注意喚起を実施。
- ・発注者の各職場において建設工事事故防止を目的とした安全衛生管理に関する研修の実施。
- ・受注者及び下請業者において、安全衛生管理に関する情報及び安全意識の共有化の推進。
- ・現場や作業所における危険について「見える化(危険・注意事項の掲示等)」を推進。